

セント・ルカ産婦人科

LUKE MAGAZINE WINTER

# ルカ新聞

 No.20  
2009.12.


サンタモニカ(アメリカ)

 柘さ  
榴くる

天の国は次のようにたとえられる。主人がぶどう園で働く労働者を雇うために朝早く広場に出かけていった。そして1日につき1デナリオンの約束で人を雇ってぶどう園に送った。その後、9時ごろ広場に行くとももしていない人がいたので同じ約束で雇った。このように、12時ごろ、3時ごろ5時ごろにも広場に行つて人を雇ってぶどう園に送った。そして仕事が終わつて夕方、まず、5時ごろ雇った人に1デナリオンを支払った。朝から雇われた人は「自分は長時間働いたからもっともらえらるだろう」と期待したが、その人にも1デナリオン支払った。朝から働いた人は不平を言った。しかし主人は約束どおりに朝から働いた人にも1デナリオン、5時から働いた人にも1デナリオン支払った。

マタイによる福音書、20章1〜11節

この聖書の箇所は本当に不公平だと思いません。「雇用条件では」といつてしまえばそのとおりですが、それでも腑に落ちません。ある解説書では、朝から働いた人は早くからその日の労働が得られて安心して1日を過ごしたが、5時まで雇われなかった人はそれまで不安で仕方なかっただろう、今日雇われなかったら今日の稼ぎは無く、家族が困るだろう、と。それらを考えに加えれば、誰も同じ金額でよかったといっています。しかし、ある牧師はこの部分を読んだとき、「あ、自分も救われるのだ。」と嬉しくなったと言われました。そうです。私たちはこの中では5時に雇われた者たちなのです。どんなに遅れて働きに来ても、たったそれだけの働きであっても、神様は私たちを平等に救ってくれます。そういう見方で自分を見ることができるようになりたいと思います。





## 巻頭言

院長 宇津宮 隆史

近年、社会の多様性が認識されるに並行して、疑問に感じたり、なかには「ちょっと理解できないな」と思ったりすることが間々あります。生殖医療では、そのような局面が出やすいと思います。たとえば、代理母や提供卵子・精子を用いた医療、またはクローン技術を用いた方法などです。これらの方法は、赤ちゃんがほしいと思ったら絶対に赤ちゃんを産む、そのためにはどのような方法を使ってもいい、ということ徹底的に追求する結果であるためだと思います。いわゆる「不妊治療原理主義」です。赤ちゃんができなかつたら絶対に良くない、何が何でも必要だ、そのためにはどんな手段を用いても実現させる、という気持ちがそうさせるのでしょう。しかし、少し考えを切り替えてみると、生殖医療では、赤ちゃんを望む夫婦のみでなく、その後その子供というその場にはいなかった一人の「人格」が、夫婦の将来に参加・関与します。そして生殖医療の結果について考えてみると、この第3の人格である「子供」の気持ちが最も重要であることがわかります。子供を望む夫婦の気持ち以上に、その子供の気持ちを大切にしなければならないと思います。数年前にAID(非配偶者間人工授精)で生まれた子供(といっても24歳と29歳)が偶然にその事実を知り(それまでは秘密にされていた)、事実を知ってまだ1年も経っていない頃に、彼らの話を聞く会に参加しました。その後、毎年その会に参加して彼らの気持ちを聞いています。彼らはその事実を知った後、自分のアイデンティティーに混乱をきたし、立ち直るのに数年かかっています。そしてこのような医療はやめてほしいと訴えています。このように生殖医療には他の医療に無い側面があります。生殖医療の現場では、AIDに限らずいろいろな技術が利用されています。そこで、われわれは、患者さんも含め、これらのことを知り、考え、選択しなければならないと思います。

また、患者さんの中でも、提供卵子・精子、提供胚はいやだが、「代理母」は受け入れやすいという意見があります。これは、日本人は血のつながりを大切にすることから、提供された卵子・精子・胚については抵抗感があるが、「代理母」はそれを満たしており、ただ生まれる場所の問題だけと考えているからだだと思います。しかし、よく考えてみましょう。リスクを伴う妊娠・分娩を、たやすく他の人をお願いしてよいのでしょうか。むしろ、方法を考えるなら提供卵子・精子・胚のほうが、少なくとも医学的には容認できます。生殖医療には、このように本当に奥底まで深く考えて、そして選択しなければならないことがたくさんあります。

なかには養子縁組や、子供のいない生活を選ぶことなども含まれます。いろいろなオプションがあるのです。そしてその子供が、「生まれてきてよかった」と将来思えるような生殖医療をしたいと思います。最近では、不妊治療は子供を望む夫婦のためだけでなく、むしろ、まだ生まれていない子供のためにあるように感じています。



## 新外来着任の挨拶



河邊 史子

2010年1月から月、金の午後の新しく外来を担当させて頂くことになりました河邊史子と申します。以前よりずっと宇津宮先生と一緒に仕事をするのが夢でしたので、このような形でチャンスを頂き、はりきっております。治療を始めて間もない方や、不妊以外の婦人科疾患の方も来て頂ければと思っております。

私は生まれも育ちも鹿児島県、大学も鹿児島でしたが、大学を卒業してすぐに北九州市の救急病院で研修しました。内科、小児科、産婦人科、麻酔科を回り、救急外来でも様々な経験をしましたが、女性の一生に関わることができる産婦人科に大変興味を持ちました。大分医科大学(現大分大学医学部)に2年の予定で勉強に来たのですが、いつの間にか13年の歳月が流れていきました。その間に家族もでき、今では大分が第2の故郷となりました。

まだまだ宇津宮先生には及びませんが、どのような治療をしていくのか、患者さんと一緒に考え、一緒にがんばっていきたくと考えております。日々の治療に伴う不安やあせり、プレッシャーは私自身共感できる部分もありますので、少しでも患者さんの負担を軽減できればと考えております。

ところで、私は中学生のときにリコーダー部に所属し部長を務めておりました。昨年1月にセント・ルカ病院内で、職員の方々とリコーダー部を作り、仕事の合間にリコーダー演奏をしております。病院のクリスマス会で合奏しますので、ぜひ、ご参加ください。

これからも、微力ながら精一杯努力していく所存でございますので、御指導、御鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

## 退職によせて



看護師長  
指山 実千代

この度、12月末にてセント・ルカ産婦人科を退職することとなりました。17年半の歳月はまさに「光陰矢の如し」で、開院日が昨日のように思い出されます。1992年6月に大分県下初の不妊専門施設として開院しました。当初から生殖医療をとりまく環境はとても厳しかったため、院長は全身全霊で患者さんの悩み、立場、心のサポート、経済的サポートの必要性、そして情報の公開等、生殖医療に必要と思われるすべてに力を注ぎ続けてまいりました。また看護師が患者さんの最も近くに位置することから、質の向上を目指し勉強会を何度も行い根気強く指導もして下さいました。医師だけでなく看護師、研究室、心理士、情報処理、受付のチームとして生殖医療に携わることの大切さも説いて下さいました。看護師として私も必死でした。知れば知るほど奥が深く、患者さんの気持ちを思えば思う程悩んでしまいます。

開院の翌年から始まった全体ミーティングは今月の12月末で760回になります。大切な午後の診療をしないで開催される会はセント・ルカ職員の意識を高めるための体製造りにとても有効と考えます。各部署が一同に会しての全体ミーティングはトップの考えが直に伝わり、院の方針が見えてきます。院長は会の最後の一人一言の時間がとても好きです。ニコニコ顔で一言を聴かれています。その人が今何を考えどのような状況にいるのかわかるのだと話

されてきました。一人一人をきちんと掌握して揺るがない方針のもと盤石な体制でセント・ルカを牽引し続けた原点はここにあるのだと思います。本当にこの山を越せるのかと心が壊れそうに思った事は何度もありましたが今、思えば何かの力が加勢してくれたと思います。山を越えられましたから。

楽しい思い出は一杯です。新年会、花見の会、ルカセミナー、職員旅行、忘年会、クリスマス会と院あげての行事は日々の勤務の緊張を一気に解いてくれる良薬でした。学会賞も頂きました、昨年は看護部の賞も頂き日頃の努力が実を結んだことと基本を着実に進めることの大切さも学びました。ルカで頂いた幸福は言い尽くせません。スタッフ一丸となり来年も更に一人でも多くの方々の夢と希望が叶えられますよう最高の知識と技術と心の提供に加え、癒しの場所の提供を掲げた医療を全うするよう心から願っています。



# 研究室だより

## 培養室より

研究室 長木 美幸

卵子や胚を培養しているインキュベータ(培養庫)は、子宮の中と同じ環境を保つ為、完全な無菌室内で、温度は37℃、酸素濃度の低い環境に設定しています。卵子や胚を扱う際は、子宮と同じように部屋を暗くして操作を行なっています。

もしインキュベータが、培養士が不在中に故障してしまったり...

卵子や胚にダメージを与えてしまう可能性があります。このようなことが起こらないよう、パソコン管理下でインキュベータを24時間監視しています。

インキュベータの温度やガスの濃度が設定している値より高くなったり低くなったりした場合には、監視システムのパソコンから培養士に自動的にメールが配信されて、インキュベータの確認にかけつけます。



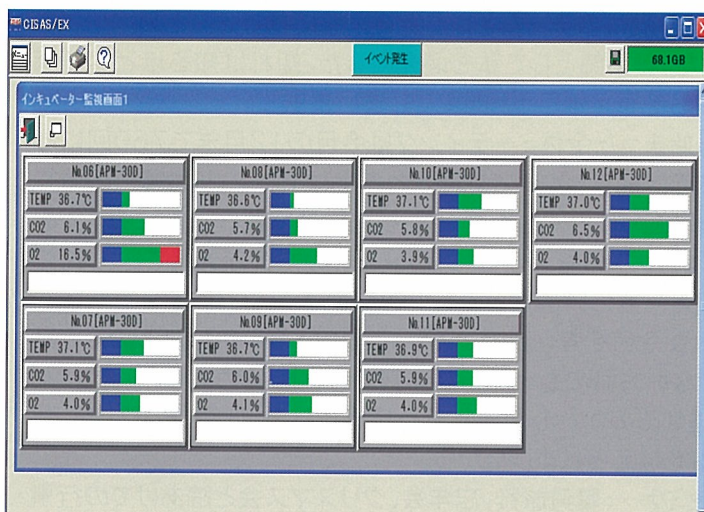
卵子・胚を培養するインキュベータ



胚が入っているディッシュ

体温計

インキュベータ庫内の様子



No.6~No.12までの7台のインキュベータを監視しています。赤いバーが出ている6番のインキュベータは、ガス濃度が設定より高値を示しています。



監視システムソフトが入った専用パソコンです。準クリーンルームに設置されています。



# 看護部だより

## ART施設におけるサポートグループの看護師の役割

～40歳以上の患者を対象に～

看護部 松元 恵利子

当院では40歳以上の患者の孤独感やストレスの軽減を目的とし2001年よりサポートグループを発足しました。現在3期～6期が継続中です。今回は、サポートグループ3期4期の看護師の役割を検討した。

### 40歳以上の会を開催する為の看護師の役割

#### 1.参加者を募る

- ポスターを掲示
- 体外受精を受けている治療困難な患者さんをリストアップし声かけ

3期・4期  
合同オリーブの会  
2月3日(土) 14:00～  
談話室

#### 2.クローズドの会で設定する

- 40歳以上で治療困難では治療終了が遠からず訪れる可能性が高い
- 支えあえる関係を築くため、同じメンバーで半年間は毎月続ける  
その後は、患者の要望により1～2ヶ月に1回行っている

#### 3.会の注意事項を説明する

- 安心して参加することができ、深い話まで共有することができるように
  - ①個々の話を傾聴する
  - ②話したくないときには、無理をしない
  - ③個人的な内容については会以外で口外しない

#### 4.参加者主体の会に努める

- 看護師は治療の方向性について、治療を勧めることも、最終を促すこともしない

→話題や進行は、患者さんの会話から深める

#### 5.情報を提供する

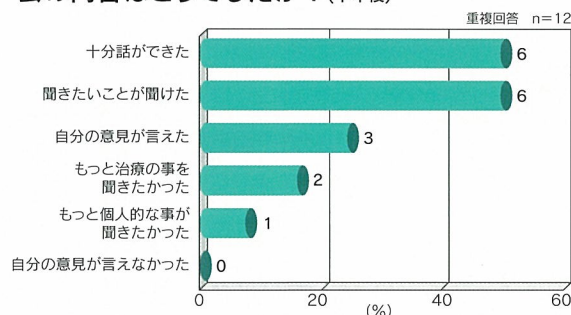
- 40歳以上の治療についての正確な情報を提供する
- 要望で、各専門分野のスタッフに話を依頼する
  - 医師(治療情報・治療成績など) ラボ(受精卵や卵子・精子について)
  - 受付(料金・助成金制度など) 厨房(栄養・調理方法など)

#### 6.反省会

- 参加者の発言と進行、対応を振り返り今後のサポートを検討
- 逐語録をまとめ、院内全体ミーティングにて報告

40歳以上の会でしか聞けない、高齢患者特有の思いを院内全体で共有する

### 会の内容はどうでしたか？(半年後)



### 会の感想は？ 質問紙の記述より

- ★ 同じ年代、状況の方と知り合えて、共感してもらえホッとします。
- ★ 気持ちの言い合える人同士にしかわからない、悩みをうち明ける場を設けて頂き、感謝しています。
- ★ 会に参加させて頂き良かったです。自分自身の心も明るくなったし、色々な情報を得られた事や友人もできて感謝しています。

### 40歳以上の患者さんの会話より

- ★ 子供をあきらめたら、考えも変わるかなと思うんですが、今はキツイです。
- ★ 最後の体外受精をと、意気込んだんですが、卵ができなくてキャンセル、最大の注射を打ったのにダメでした。今回、限界を感じました。
- ★ 会が一回きりで固定メンバーでなかったら、待合室で話すことはなかったと思います。会が進むにつれて悩みを話せ支えになっています。

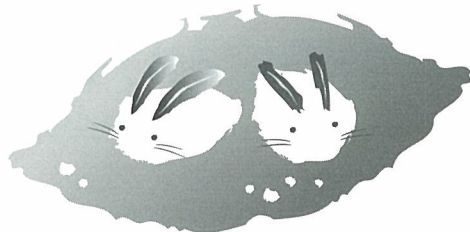
- 40歳以上の会では他では話せないことも話せる場になっていた。
- 40以上の患者さんは治療終了の可能性が高いという年齢に対する不安や子供のいない生活へ向き合う為の気持ちを整理する時間と場が必要と思われる。
- 看護師の取り組む計画、準備、設営、実施、報告などの会の運営者としての役割は、大きな意義があると考えられる。
- 看護師は医療者として、もっとも身近な存在にあり、正確な情報提供者、安心して話せる支援者としての役割を担っていると考える。



# 心理相談室より

こんなことは、ありませんか？

- これからの治療をどうしようかと考えている
- 不安になる
- イライラしたり落ち込んだりする
- そろそろ治療を止めた方が・・・と迷っている
- パートナーとなんとなくしっくりこない
- その他・・・なんだかストレスがたまっている 等



一人で悩まないで、一度心理相談室に来てみませんか？  
どんな小さな気付きもすっきりさせて、ためないようにできるといいですね。

## どうぞお気軽にご利用ください

カウンセリングに興味のある方は、看護師、受付スタッフに声をかけてください  
〔料金:一回一時間を目安に1370円(体外受精の方は無料)〕

心理士相談 …… 火、金、土曜日 (予約制)	看護師又は受付に 申し出て下さい。
何でも相談 …… 随時、主に土曜日 午後(予約制)	
院長相談 …… 月、水、金 夕方(予約制)	
外来相談 …… 随時、外来の相談係り	

# 受付より

## ★2009.10.1より大分市の助成金金額が変わりました★

- (初回) 限度額 20万 (治療費が20万以下の場合はその金額)
- (2回) 限度額 15万 (治療費が15万以下の場合はその金額)

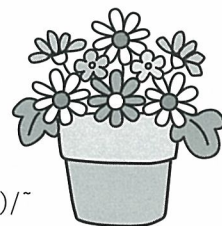
大分市に申請される方はご注意ください。また、申請の書類はお早めをお願いします。

## ★新型インフルエンザ対策をしています!!★

現在、来院された方全員に(お連れの方も)、受付後、皆様各自で検温をしていただいています。また、診察等での来院や講座への参加時にマスクの着用も呼びかけていますので、引き続きご協力をお願いします。



ガーデニングの植替えを行いました。  
春を楽しみにして下さいね(>o<)/~





# 第65回 アメリカ生殖医学会 (ASRM) 参加報告

## 《 アメリカ アトランタ 》

2009/10/17~2009/10/21

今年も、当院から2題発表しました。

### 宇津宮院長

「Clinical efficacy of a novel evaluation method with measurement of embryo respiration activity using a scanning electrochemical microscopy」

—— 走査型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性の検討

受精胚の呼吸量を毎日測定したところ、桑実胚時期に一度減少し胚盤胞で再び増加していく胚が良好胚に育つことが確認されました。

### 看護部 篠田 多加子

「Infertility patient's mental health condition using the cornell medical index (CMI).」

—— CMI(コーネル大学医学指数)を用いた不妊患者の精神衛生状態の調査

初診時に行ったCMI健康調査によると、ストレス度が高い患者さんは治療継続率が低く、ストレス度の低い患者さんは治療継続率が高く後に妊娠に到る率も高いことが示されました。

### 感想

今回は、培養士1名、看護師1名が参加させていただきました。学会会場はとても広く、ポスター発表は600題ほど掲示されていました。海外でどのような研究がされているかを知る良い機会となりました。



## NEW 職員紹介

### 相沢 奈津枝

産婦人科は初めてのなのですが、色々と戸惑ったり、日々勉強の毎日ですが先輩方から教えて頂きながら頑張りたいと思います。宜しくお願いします。



### 上寺 美津代

初めての事が多く日々勉強の毎日です。患者さんと一緒に勉強して行きたいと思います。宜しくお願いします。



### 手島 しおり

新人の手島です。患者さんから教わる事がたくさんあります。一生懸命頑張りたいと思います。宜しくお願いします。





# 2009年 後期を振り返って

07.01 07.04 07.05	新職員 兵頭美紀さん(看護部) 第1回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 茨城県不妊専門相談センター事業 市民公開講座(茨城) 講演:「赤ちゃんがやってくる～はやく気づいて!不妊症～」(院長)	10.10 10.10 10.11	セントマザー産婦人科医院 院長 田中温先生と対談(北九州) <院長> 第150回 体外受精教室 参加者48名 参加<相澤、岡田、井澤、二宮> 日本生殖医療心理カウンセリング学会認定 生殖心理カウンセラー継続研修(福島) 参加<上野> 日本生殖医療心理カウンセリング学会認定 不妊相談士(不妊コンサルタント)継続研修(福島) 参加<小池、城戸>
07.05 07.07 07.07 07.11 07.12 07.14 07.18 07.20 07.26	第17回 茨城不妊臨床懇話会(茨城) 講演:「ARTと流産」(院長) 第124回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 院内全体研修: 接遇に関する勉強会「電話対応」(担当: 教育・推進委員会) 第41回 新患教室 参加者75名 参加<後藤香、川村、足立直、後藤裕、指山> JISART施設認定審査 審査員<上野、院長> 院内全体研修(安全管理研修): カルテの取り扱いについて(担当: 受付) 第147回 体外受精教室 参加者42名 参加<川村、井澤、二宮> 第1回 第6期オリープの会 参加者5名 JISART会議(東京) 参加<院長> 第8回 生殖バイオロジー東京シンポジウム(東京) 参加<佐藤晶、長木> Session4: 鈴木セミナー&ディスカッション「ARTの安全性について」座長: 院長	10.13 10.17 10.17 10.25 10.27 10.31	第127回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 65th Annual Meeting of American Society for Reproductive Medicine(Atlanta) 参加<佐藤晶> ポスター発表: 「Infertility Patients' Mental Health Condition Using the Cornell Medical Index (CMI)」(篠田多加子) 「Clinical efficacy of a novel evaluation method with measurement of embryo respiration activity using a scanning electrochemical microscopy」(院長) 生殖補助医療胚培養セミナー(東京) 参加<小池、城戸、長木> 第3回 2009年度(第5期)生殖心理カウンセラー養成講座(東京) 講師<上野> 西別府病院産婦人科セミナー(別府) 参加<佐藤晶、城戸、大津> 第2回 第3期・第4期・第5期合同オリープの会 参加者3名
08.01 08.01 08.04 08.06	第42回 新患教室 参加者55名 参加<長木、深田、足立直、後藤裕、指山> 第11回 第5期オリープの会 参加者4名 院内全体研修: 地震・停電避難訓練(担当: 看護部) 第27回 日本受精着床学会総会・学術講演会(京都) 参加<後藤裕> 一般演題「カウンスリング」座長: 院長 ランチョンセミナー4「ARTにおける至適卵巣刺激法の選択」座長: 院長 発表: 「ヒト未熟卵体外成熟培養(IVM)の妊娠率と出生児のメチル化インプリントの評価」(佐藤晶子) 「精子頭部の空胞と精子DNA断片化に関する検討」(城戸京子) 「査読型電気化学顕微鏡を用いた胚品質評価の選択的単一胚移植(eSET)への臨床的有用性」(熊迫陽子) 「ART施設におけるサポートグループの看護士の役割～40歳以上の高齢患者を対象に～」(松元恵利子) 「治療継続のサポートのあり方」～初診時から半年以内～(関こずえ) 「治療最終期の意思決定に対する患者の心理～「治療最終を決定した元患者を囲む会」の語りから～」(上野桂子) 「非配偶者間生殖医療(エッグシェアリング)についての意識調査(JISARTアンケートより)」(院長)	11.02 11.04 11.07 11.08 11.10 11.14	新職員 中野智子さん(看護部)、手島しおりさん(看護部) 平成21年度医事紛争講演会(大分) 参加<足立小、二宮、院長> 第151回 体外受精教室 参加者37名 参加<手島、上野、岡田、井澤、二宮> 第72回 大分県医学会特別講演会(大分) 参加<関所、佐土原、西郡、小池、佐藤晶、赤嶺、院長> 福岡山王病院(福岡)手術見学 参加<越光、関、河邊、院長> 第40回 「赤ちゃん～今ならさきと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者55名 講師<指山(看護部長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生> 参加<平松、佐土原、後藤香、手島、相澤、深田、足立直、後藤裕>
08.06 08.07 08.07 08.11 08.13 08.22 08.22 08.22 08.29	第28回 JISART理事会(京都) 参加<院長> これからのゴナドトロピン製剤在宅自己注射-日本産科婦人科学会による留意事項整備を迎え、今後に向けての座談会-(京都) 参加<院長> 日本生殖医療心理カウンセリング学会役員会(京都) 参加<上野、院長> 第125回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 IVF大阪(大阪)新クリニック見学 参加<院長> 第148回 体外受精教室 参加者42名 参加<岡田、二宮> 第2回 第6期オリープの会 参加者7名 診療所向け電子カルテ選定・導入講座(福岡) 参加<工藤由、西郡、越名> 第39回 「赤ちゃん～今ならさきと授かる～」講座(大分・トキハ会館) 参加者90名 講師<指山(看護部長)、上野(臨床心理士)、院長、おがた泌尿器科医院 緒方俊一先生> 参加<山路、平松、西郡、川村、深田、足立直、後藤裕> 第16回 臨床細胞遺伝学セミナー(東京) 参加<城戸、大津>	11.15 11.19 11.20 11.20 11.22	第6回 大分県母性衛生学会学術集会 参加<相澤、川村、河野、二宮、斉高、赤嶺、後藤裕、指山、上野> 発表: 「排卵誘発剤の自己注射に対する夫婦間の意識調査～配偶者(夫)による排卵誘発剤の自己注射を推奨して～」(井澤里紗) 「不妊治療施設におけるサポートグループの看護士の役割～40歳以上の高齢患者を対象に～」(松元恵利子) 第40回 大分市医師会医学会 参加<山路、平松、西郡、足立小、越名、小池、佐藤晶、熊迫、手島、足立直、二宮、河野、越光、斉高、関、篠田、上野、指山、院長> 発表: 「精子DNA損傷と妊娠に関する検討」(城戸京子) 「排卵誘発剤の自己注射に対する夫婦間の意識調査～配偶者(夫)による排卵誘発剤の自己注射を推奨して～」(井澤里紗) 「不妊治療施設におけるサポートグループの看護士の役割～40歳以上の高齢患者を対象に～」(松元恵利子) 大分県看護協会主催 ジェネラリストのための研修①「災害看護」(大分) 参加<岡田、越光> 岩崎産婦人科(大分)へ予約システム見学のため訪問 参加<平松、佐土原、越名> 第54回 日本生殖医学会総会・学術講演会(石川) シンポジウム「IVF患者と生殖医療」座長: 院長 発表: 「ヒト未熟卵体外成熟培養(IVM)の妊娠率と出生児のメチル化インプリントの評価」(佐藤晶子) 「精子頭部の空胞と精子DNA断片化に関する検討」(城戸京子) 「選択的単一胚移植(eSET)において移植胚選別困難例に対する呼吸量測定の有効性」(後藤香里) 「ART施設におけるサポートグループの看護士の役割～40歳以上の高齢患者を対象に～」(松元恵利子) 「治療継続のサポートのあり方」～初診時から半年以内～(関こずえ) 「不妊治療施設における看護士のインシデントレポート」(後藤裕子) 「治療最終期の意思決定に対する患者の心理～「治療最終を決定した元患者を囲む会」の語りから～」(上野桂子)
09.01 09.02 09.03 09.05 09.05 09.10 09.10 09.12	新職員 上寺美津代さん(看護部) 大分県臨床心理士会定例研修会(大分) 発表: 「生殖医療現場における臨床心理士の活動」(上野桂子) 第49回 日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会(高知) 参加<熊迫、二宮> 発表: 「卵管の大きさ、卵管口の位置と妊娠について」(院長) 第40回 ガーネットサークル OG 1名、参加者4名 第2回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 大分県看護協会主催 新人のための研修「リスクマネジメント」「感染予防」(大分) 参加<川村、井澤> 医療ガス保安講習会(大分) 参加<斉高、赤嶺> 第149回 体外受精教室 参加者29名 参加<山路、平松、工藤由、佐土原、西郡、上寺、岡田、井澤、二宮> 第3回 第6期オリープの会 参加者7名 大分放送(OBS)「経営ナビ」出演 <院長> 大分大学医学部附属病院 山内美佳先生研修のためご来院(～9月19日まで) 第126回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 JISART打合せ(東京) 参加<院長> 第18回 新型インフルエンザの基礎知識と対策(大分) 参加<工藤由、矢野、後藤香、河野、篠田、指山> 日本心理臨床学会 第28回秋季大会(東京) 自主シンポジウム「生殖医療領域における心理職の存在意義～医療スタッフ・患者の期待にどう応えるか～」: 「臨床心理士が不妊治療専門施設でできること」(上野桂子)	11.22 11.24 11.24 11.27 11.28 11.28	第54回 日本生殖医学会総会・学術講演会(石川) SarahBase プース展示 <山路、上野> 第128回 聖書の学び 日本福音ルーテル大分教会 野村陽一牧師先生ご来院 福岡山王病院(福岡)産婦人科医師 宮原明子先生、胚培養士 江頭由佳子先生 院内見学のためご来院 第5回 第6期オリープの会 参加者6名 第29回 JISART理事会(鳥取) 参加<院長>
09.09 09.12 09.14 09.15 09.17 09.18 09.20	日本人類遺伝学会 第54回大会(東京) 参加<城戸、大津> 診療所等看護職員研修会「診療所・施設での感染対策について」(大分) 参加<後藤裕> 第9回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、藤原邦子先生(別府平和園 保育士)、指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護部長)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (あいうえお願) 第46回 九州市医師会連絡協議会(熊本) 参加<院長> 第3回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 英西向け電子カルテ選定導入講座(福岡) 参加<平松、佐土原、足立小> 茨城県マスコクリニック(兵庫)胚培養士 橋本洋美先生、水田真平先生、片田雅也先生 胚呼吸量測定装置見学のためご来院 福岡山王病院(福岡)施設見学 参加<工藤由、越名、熊迫、篠田、後藤裕、河邊、院長>	12.01 12.05 12.05 12.10	ISO9001マネジメントレビュー 第44回 新患教室 参加者29名 参加<熊迫、手島、相澤、足立直、後藤裕、指山> 卵巣に関する国際カンファレンス2009(東京) 参加<小池、大津> 大分県立看護科学大学講義 講義: 「不妊症講座」(院長) 「不妊治療と看護-患者の心理とケア・サポーター-」(上野桂子)
09.24 09.24 09.25	日本人類遺伝学会 第54回大会(東京) 参加<城戸、大津> 診療所等看護職員研修会「診療所・施設での感染対策について」(大分) 参加<後藤裕> 第9回 セント・ルカ産婦人科倫理委員会 倫理委員: 上野徳美先生(大分大学医学部医学科社会心理学 教授)、緒方俊一先生(おがた泌尿器科医院 院長)、藤原邦子先生(別府平和園 保育士)、指山実千代(セント・ルカ産婦人科 看護部長)、野村陽一先生(日本福音ルーテル大分教会 牧師) (あいうえお願) 第46回 九州市医師会連絡協議会(熊本) 参加<院長> 第3回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 英西向け電子カルテ選定導入講座(福岡) 参加<平松、佐土原、足立小> 茨城県マスコクリニック(兵庫)胚培養士 橋本洋美先生、水田真平先生、片田雅也先生 胚呼吸量測定装置見学のためご来院 福岡山王病院(福岡)施設見学 参加<工藤由、越名、熊迫、篠田、後藤裕、河邊、院長>	12.12 12.12 12.19 12.19 12.19 12.23 12.24	第152回 体外受精教室 忘年会 第41回 ガーネットサークル IVF大阪(大阪)新クリニック内覧会 参加<河邊、院長> 第4回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 日本生殖医学会生殖医療専門医平成21年度講習会(東京) 参加<院長> クリスマス会
09.26 09.26 09.26 09.28	第3回 2009年度(第3期)不妊相談士(不妊コンサルタント)養成講座(東京) 参加<関> 英西向け電子カルテ選定導入講座(福岡) 参加<平松、佐土原、足立小> 茨城県マスコクリニック(兵庫)胚培養士 橋本洋美先生、水田真平先生、片田雅也先生 胚呼吸量測定装置見学のためご来院 福岡山王病院(福岡)施設見学 参加<河邊、院長> 株式会社バズラボ「ソネコ」 特別対談「不妊治療の現場から」:	12.12 12.12 12.19 12.19 12.23 12.24	著書 <院長> 「生殖補助医療における多胎妊娠とその予防」【Pharma Medica】Vol.27 No.5 (メディカルレビュー社) 「PGD」産婦人科の実際 不妊治療ハンドブック Vol.58 No.11 (金原出版株式会社) 「ヒト胚のクォリティー評価」【卵子学 Oocyteology】 (印刷中) 「精子頭部の空胞と精子DNA断片化に関する検討」【産婦人科の実際】 (執筆中) 「ヒト卵管液の組成」【生命の誕生に向けて<第2版>-生殖補助医療(ART) 胚培養の理論と実際】 (執筆中)
10.01 10.02	新職員 相澤津枝さん(看護部) 第30回 大分市医師会産婦人科-内分泌・不妊・代謝-懇話会 参加<山路、平松、佐土原、西郡、足立小、越名、佐藤晶、後藤香、大津、上寺、川村、深田、井澤、松元、斉高、関、後藤裕、指山、上野、河邊、院長> 「胎盤トロフォプラスト」-その多彩な機能-	12.12 12.19 12.19 12.23 12.24	論文 <大津英子> 「Chromosome analysis of human frozen embryos following fluorescence in situ hybridization」 Reprod Med Biol 8(3):103-106,2009 <熊迫陽子> 「Ovarian reserve factors in the elderly」日本受精着床学会雑誌 26(1):320-322,2009 「The efficacy of the transfer of twice frozen-thawed embryos with the vitrification method」 Fertility and Sterility 91(2):383-386,2009 <後藤香里> 「電気化学的呼吸計測技術におけるヒト胚クォリティー評価と安全性」日本受精着床学会雑誌 (印刷中)
10.03 10.03 10.06 10.09	第43回 新患教室 参加者09名 参加<城戸、上寺、深田、足立直、後藤裕、指山> 第4回 第6期オリープの会 参加者5名 福岡山王病院(福岡)施設見学 参加<河邊、院長> 株式会社バズラボ「ソネコ」 特別対談「不妊治療の現場から」:		

## 妊娠報告件数

(2009.6.1~2009.11.30)

体外受精、顕微授精等

92件

\*

その他(体外受精以外)

97件

計 189件

## 編集後記

今年もたくさんの行事に参加させていただきました。

2009年後半は、主な学会では、研究室から「世界体外受精会議学術賞」の候補演題を発表した受精着床学会、婦人科癌患者のARTによる妊孕性温存治療などのシンポジウムも開かれていた日本生殖医学会がありました。

他にも数々の講演会に参加させていただき勉強することが出来ました。

来年も、すすんで知識向上を目指し、ひとりでも多くの患者さんに赤ちゃんが授かるよう職員一同がんばります。

(新聞係り A.S)



兼六園(金沢市)



**JISART**  
Japanese Institution for Standardizing  
Assisted Reproductive Technology

発行:医療法人セント・ルカ産婦人科/セント・ルカ生殖医療研究所  
〒870-0947 大分市津守富岡5組 ☎097-568-6060 ☎097-568-6299  
E-mail st-luke@oct-net.ne.jp http://www.st-luke.jp/  
携帯サイト http://www.st-luke.jp/imode.htm